
議 会 要 覧

(令 和 4 年 度 版)

大 垣 市 議 会 事 務 局

市章



(大正7年4月1日制定)

市章の由来

大垣市の「大」を図案化したもので「大柿」の“へた”の形をも表わしています。

大垣市民の誓い

(昭和63年4月1日制定)

私たちは、伊吹山系と揖斐川水系のもつ美しい自然に恵まれ、歴史と文化と産業の伝統を受け継いできた大垣市民です。

私たちは、お互いに誇りと責任を持ち、それを未来にひらく、活力にみちたまちづくりをすすめるため、市民の誓いを定めます。

私たちは

水を生かし
緑を広げ
安全に務め
心を育て
助け合います

大垣市の木・花・魚・花木・昆虫

(昭和48年10月31日制定)

市の木 「クスノキ」



市の花 「サツキ」



(平成20年10月11日制定)

市の魚 「ハリヨ」



(平成30年10月6日制定)

市の花木 「ハナミズキ」



市の昆虫 「ホタル」



目 次

市 勢

1	大垣市の概要	1
2	市制施行	1
3	面 積	1
4	位 置	1
5	人 口	1
6	世 帯	1
7	国勢調査人口及び世帯数	2
8	国勢調査産業別（大分類）人口	2
9	都市宣言	2
10	フレンドリーシティ交流の推進	2
11	モデル指定状況等	4

議 会

1	議 員 数	5
2	会派別議員数	5
3	当選回数別議員数	5
4	議会構成	5
5	議員報酬等	6
6	期末手当	6
7	行政視察旅費等	6
8	海外行政視察	6
9	政務活動費	6
10	議会関係予算	7
11	事務局機構	7

議会運営

1	議席の指定	8
2	委員会委員の選出方法	8
3	本会議の審議順序	8
4	議案の質疑方法	8
5	一般質問の運営方法	8
6	委員会	9
7	予算の審査方法	9
8	決算の審査方法	9
9	議案等の審査方法	9
10	請願、陳情の取り扱い方法	9
11	傍聴の取り扱い方法	10
12	会議録	10
13	一般質問の録画放映	10
14	本会議開催状況	11
15	委員会等開催状況	11
16	提出議案及び議決状況	12
17	請願・陳情の審査状況	12

財政

1	予算総括表（当初）	13
2	一般会計予算款別比較表（当初）	14
3	一般会計歳出（目的別）予算（当初）	15
4	財政の主要指標（普通会計決算）	16

大垣市未来ビジョン	17
-----------	----

市 勢

1 大垣市の概要

本市は、日本列島のほぼ中央、濃尾平野の西北部に位置する岐阜県第2の都市で、大正7年4月1日に市制を施行し、西濃地域の産業、文化をリードする中心都市である。

平成18年3月27日に上石津町及び墨俣町と合併した。上石津町の緑豊かな自然や里山、墨俣町の一夜城や犀川の桜堤など個性を生かしたまちづくりを進めている。

市内には、揖斐川、水門川など多くの一級河川が流れ、古来から幾重にも洪水被害に遭い、住民は輪中と呼ばれる網の目のような堤防を築造し、災害から集落や耕地を守ってきた。

また、本市は揖斐川水系の自噴帯にあり、古くから「水都」と呼ばれ、良質で豊富な地下水に恵まれ、市民生活はもとより工業用水として大正初期から繊維産業を中心に内陸工業都市として発展してきた。

平成30年度には市制100周年を迎え、次代を担う子供たちが主役となる30年後の本市のあるべき姿「未来都市像」を「みんなで創る 希望あふれる産業文化都市」とする大垣市未来ビジョン基本構想を策定した。

令和3年度から「飛び出す市役所」事業を開始し、市役所で実施している行政サービスを市民が集まる場所で提供したり、意見を伺う取り組みを開始した。その事業の一つとして、大垣駅北市民サービスセンターをオープンし、買い物や通勤、通学のついでに気軽に手続きを行うことができるようになった。

令和4年4月には、大垣市スマートシティ推進計画を策定し、AIやIoT、ビッグデータ等のデジタル技術を活用し、市民生活の利便性向上や行政サービスの高度化、効率化等を図ることにより、だれもが幸せに暮らすことができ、住み続けたいと思える、持続可能なまちづくりを推進していく。

2 市制施行 大正7年4月1日

3 面 積 206. 57km²

4 位 置 東 経 136度36分
(市庁舎) 北 緯 35度21分
海 抜 5.9m

5 人 口 159,359人 (令和4年4月1日現在／住民登録)
男 77,955人
女 81,404人

6 世 帯 68,230世帯 (令和4年4月1日現在／住民登録)

7 国勢調査人口及び世帯数

区 分	人 口			世 帯 数
	総 数	男	女	
平成22年	161,160	78,282	82,878	58,536 ^{世帯}
平成27年	159,879	77,430	82,449	60,085
令和 2年	158,286	76,994	81,292	62,277

8 国勢調査産業別(大分類)人口

区分	第1次産業		第2次産業		第3次産業		分 類 不 能 業 の 産 業		総 計	
	平成22年	1,135	1.5	25,228	32.6	47,735	61.6	3,368	4.3	77,466
平成27年	1,169	1.5	25,646	32.5	49,431	62.7	2,605	3.3	78,851	100.0
令和2年	1,008	1.3	25,178	32.8	48,787	63.6	1,794	2.3	76,767	100.0

9 都市宣言

交通安全都市宣言	昭和36年12月15日制定
明るい青少年都市宣言	昭和41年 4月 1日制定
障害者福祉都市宣言	昭和54年12月16日制定
人権を尊重する都市宣言	平成 6年 9月21日制定
心やすらぐ緑の都市宣言	平成16年 4月29日制定
男女共同参画都市宣言	平成17年 3月18日制定
ゼロカーボンシティおおがき宣言	令和 2年12月17日制定

10 フレンドリーシティ交流の推進

産業、文化、スポーツ、教育をはじめ市民生活にいたるまで、国内にとどまらず、海外と盛んに交流が行われている。こうした市民を主体とした実質的な交流の積み重ねを核として、国の内外を問わず、また形式にとらわれることなく、「市民と市民」「都市と都市」が、互いに理解と認識を持ち友情の絆を強めて、国際親善を図っている。

フレンドリーシティ(海外7都市、国内2都市)

○海外都市

チャンウォン 昌原市 (韓国)
慶尚南道の行政、文化、教育、産業をリードする計画都市として市街地開発が進められ、世界的企業が集積する工業都市として知られている。昭和63年10月から交流。
グレンアイラ市 (オーストラリア)
ビクトリア州の州都メルボルン郊外の都市。市内には、緑地や公園が広がり、自然豊かな都市である。昭和63年10月から交流。
ハンタン 邯鄲市 (中国)
3000年の歴史を誇る河北省にある古都。鉄鉱石、石灰、陶土などの地下資源に恵まれ、工業都市として発展している。昭和63年10月から交流。
シュツットガルト市 (ドイツ)
ドイツ南西部バーデンヴェルテンベルク州の州都。芸術、文化、経済の中心都市として栄えている。昭和63年10月から交流。
ナミュール市 (ベルギー)
ベルギーの首都ブリュッセルから約60km離れたところにあり、市内には、観光名所の「城砦」をはじめ、世界遺産の「鐘楼」があるなど、歴史・文化が息づく都市である。平成10年10月から交流。
ビーバートン市 (アメリカ)
オレゴン州最大都市のポートランド至近にあり世界的な企業が立地しながら、自然豊かな渓谷に恵まれた都市。平成27年11月から交流。
ユージーン市 (アメリカ)
オレゴン州内2番目の人口規模で、日本からの留学生が多いオレゴン大学等が立地し、教育環境に恵まれた学園都市。平成27年11月から交流。

○国内都市

鹿児島市 (鹿児島県)
南国の美しい自然に恵まれた街。近年、火山活動が活発な桜島は、市のシンボルとして錦江湾にそびえている。昭和63年10月から交流。
日置市 (鹿児島県)
鹿児島県の西部、薩摩半島のほぼ中央に位置し、日本三大砂丘のひとつ吹上浜が東シナ海に面した自然豊かな、古の情緒と安らぎに満ちた都市。平成20年10月から交流。

11 モデル指定状況等

指 定 年 月	事 業 名	主 管 省 庁 県 名
昭和 57 年 4 月	水緑都市モデル地区整備事業	国 土 庁
昭和 60 年 6 月	地方都市中心市街地活性化事業 (シェイプ・アップ・マイタウン計画)	建 設 省
昭和 60 年 8 月	商店街活性化モデル事業 (コミュニティ・マート構想モデル事業)	中 小 企 業 庁
昭和 61 年 4 月	ボラントピア事業 (大垣市ボランティアのまちづくり事業)	厚 生 省
昭和 62 年 4 月	アメニティ・マート構想モデル事業	岐 阜 県
昭和 62 年 4 月	岐阜県ソフトピア構想	岐 阜 県
昭和 63 年 6 月	テレトピア構想モデル都市	郵 政 省
昭和 63 年 11 月	国際交流のまち推進プロジェクト	自 治 省
平成 2 年 4 月	高度映像都市構想モデル事業 (ハイビジョン・シティ)	郵 政 省
平成 3 年 7 月	ふれあいのまちづくり事業	厚 生 省
平成 8 年 7 月	マルチメディアモデル地域	建 設 省
平成 8 年 9 月	下水道管理高度情報化モデル事業	建 設 省
平成 9 年 3 月	文化のまちづくり事業	文 化 庁
平成 13 年 7 月	電子自治体推進パイロット事業	総 務 省
平成 21 年 6 月	地域におけるグリーン電力証書の 需要創出モデル事業	環 境 省

議 会

1 議員数(令和4年5月12日現在)

条例定数	22人	(平成27年5月1日～)
現員数	22人	

2 会派別議員数(令和4年5月12日現在)

会 派	人 員	会 派	人 員
大垣市議会自民党緑風会	10人	市 議 会 公 明 党	2人
自 民 ク ラ ブ	4人	日 本 共 産 党	2人
民 主 ク ラ ブ	3人	市 民 ネ ッ ト ワ ー ク	1人

3 当選回数別議員数(令和4年5月12日現在)

回数	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
人員	4人	5人	2人	3人	1人	1人	3人	2人	1人

4 議会構成(令和4年5月12日現在)

委 員 会 名	定数	現員	所 管 事 項
総務環境委員会	8人	8人	企画部・総務部・生活環境部・会計管理者・選挙管理委員会・公平委員会・監査委員の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属しない事項
教育福祉委員会	7	7	市民活動部・健康福祉部・こども未来部・教育委員会の所管に属する事項及び市民病院に関する事項
建設産業委員会	7	7	経済部・建設部・水道部・都市計画部・農業委員会の所管に属する事項
議会運営委員会	7	7	次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、陳情等を審査する。 (1)議会の運営に関する事項 (2)議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 (3)議長の諮問に関する事項

委員会名	委員数	調査・審査事項
市民病院に関する委員会	5人	市民病院に関する事項

5 議員報酬等(平成7年6月1日適用)

議長	630,000円	市長	1,055,000円
副議長	579,000円	副市長	870,000円
議員	553,000円	教育長	689,000円 (平成27年4月1日適用)
議会選出監査	25,000円 (平成8年4月1日適用)		

6 期末手当(令和4年4月1日適用)

支給率：6月 2.15月 12月 2.15月

加算率：20%

7 行政視察旅費等

- (1) 常任委員会……………1人当たり年額 120,000円
- (2) 議会運営委員会……………1人当たり年額 100,000円
- (3) 特別委員会……………1人当たり年額 80,000円
- (4) 旅費規程等……………日当 3,000円 宿泊 14,800円

8 海外行政視察

(対象) 4年を超える議員……………1人当たり 1,000,000円・2人

9 政務調査費

平成19年5月10日より議員提案により廃止。

10 議会関係予算(令和4年度当初予算)

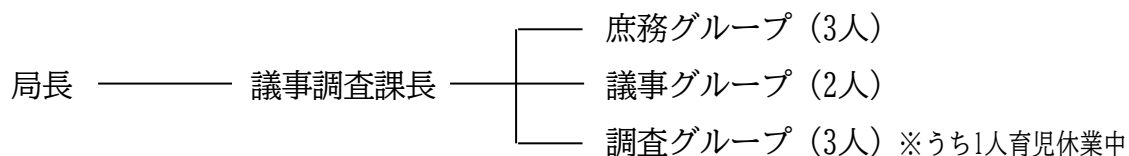
議会費総額 358,490千円 (一般会計に占める構成比 0.6%)

(単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
報 酬	208,340	需 用 費	2,956
給 料	41,590	役 務 費	1,114
職 員 手 当 等	22,740	委 託 料	2,511
共 済 費	61,150	使用料及び賃借料	1,648
報 償 費	119	備 品 購 入 費	150
旅 費	12,945	負担金補助及び交付	2,027
交 際 費	1,200		

11 事務局機構

条例定数 11人 現員数 10人



議会運営

1 議席の指定

- ・本会議場 議席番号の若番から当選回数を増すごとに順次議席区分を定め、同期議員間においては抽せんにより決定。

2 委員会委員の選出方法

- ・各議員の希望を聞き、会派の構成に基づいて割り振る。

3 本会議の審議順序

- ・第1日目 条例、予算等を含め議案を一括上程、提案理由の説明。
- ・第2日目 一般質問。終了後、上程議案等を所管の委員会に付託。
- ・第3日目 委員長報告。討論の後、採決。
※ただし、人事案件は、議事日程を変更し委員会審査を省略して先議するのを通例とする。

4 議案の質疑方法

- 一般質問と同時に実施。

5 一般質問の運営方法

- (1) 通 告 指定様式に具体的に記入し、議長に提出
- (2) 通告時期 定例会初日の翌々日の午前10時まで
(FAX、メールの場合は、同日9時まで)
- (3) 質問順位 通告順により各会派代表者による抽せん
- (4) 代表質問 なし
- (5) 質問日程 1～2日間
- (6) 質問時間 1議員につき、おおむね1時間以内（答弁時間を含む）
- (7) 回数制限 再質問を含め3回まで
- (8) 関連質問 認めていない
- (9) 質問方法 登壇
- (10) 答弁方法 市長は登壇、関係部長は自席で答弁

6 委員会

(1) 会期中の開会

会議日程により招集。原則、複数委員会の同時開催はしない。

(2) 閉会中の開会

閉会中の継続調査の手続のうえ、委員長が招集し開催。

(3) 理事者の出席範囲

所管の部課長が出席。

7 予算の審査方法

当初、補正予算とも所管の委員会へ分割付託。

(当初予算については、3月定例会前に全議員を対象に説明会を開催)

8 決算の審査方法(9月定例会)

決算委員会を設置して付託、審査。

9 議案等の審査方法

所管の委員会へ付託、審査。

ただし、人事案件及び議員提出議案（意見書等）は、委員会付託を省略。

10 請願、陳情の取り扱い方法

(1) 請願の審査

本会議において請願文書表を配付し、所管の委員会に付託、審査。

定例会最終日に委員長より審査報告を受け、採決。

(2) 陳情の審査

所管の委員会に付託、審査。

(3) 受付期限

定例会の会期、日程を決定する議会運営委員会の開会日の前日（土・日祝日のときはその前日）まで。

(4) 審査結果の通知

審査の結果を提出者に通知。

11 傍聴の取り扱い方法

(1) 本会議

大垣市議会傍聴規則による。

定員91人（一般席 75席 車いす席 4席 報道関係席 12席）

(2) 委員会

大垣市議会委員会傍聴規程による。

※委員会に諮り決定する。報道関係者については、申し出を委員会で報告し、決定する。

12 会議録

(1) 本会議

- ・記録の方法 議長の定める方法により記録。（全文記録）
- ・印刷部数 33部
- ・作成期限 次期定例会まで
- ・配布範囲 議員及び関係者
- ・会議録の公開 平成元年以降の会議録をデータベース化し、インターネットで閲覧可能。

(2) 委員会

- ・記録の方法 要点記録
- ・作成期限 次期定例会まで
- ・会議録の公開 平成19年度以降の会議録をデータベース化し、インターネットで閲覧可能。

13 一般質問の録画放映

大垣ケーブルテレビによる一般質問の録画放映

- ・放映内容 一般質問の録画放映
- ・放映日 一般質問が行なわれた週の土・日を予定
- ・放映方法 大垣ケーブルテレビ（11ch）
- ・放映開始日 平成28年第1回定例会（3月）から

14 本会議開催状況(令和3年)

区 分		会 期	会議日数	会議時間	一般質問者数	傍聴者数
定 例 会	第1回定例会（3月）	16	3	6：23	12	19
	第2回定例会（6月）	16	3	5：03	11	16
	第3回定例会（9月）	19	3	6：07	13	22
	第4回定例会（12月）	16	3	5：23	13	19
	計	67	12	22：56	49	76
臨 時 会	第1回臨時会（5月）	1	1	0：49	—	—
	計	1	1	0：49	—	—
合 計		68	13	23：45	49	76

15 委員会等開催状況(令和3年)

(1) 委員会

区 分		委 員 会	
		開催回数	開催時間
常 任 委 員 会	総務環境委員会	6	6：40
	教育福祉委員会	6	9：51
	建設産業委員会	4	7：14
	計	16	23：45
議 会 運 営 委 員 会		13	4：17
特 別 委 員 会	市民病院に関する委員会	4	2：24
	決 算 委 員 会	2	7：27
	計	6	9：51
合 計		35	37：53

(2) その他

議 員 総 会	開催回数	5	開催時間	0：21
---------	------	---	------	------

16 提出議案及び議決状況(令和3年)

		種 類 別										議決態様別								
		予 算	条 出	例 出	議 案	同 意	認 定	承 出 件 数	認 承			會 議 規 則	意 見 書	決 議 員 派 遣	可 決	修 正 可 決	否 決	繼 続 審 査	審 議 未 了	撤 回
									提 出	(内 訳)										
										予 算	条 例									
定 例 会	第1回定例会	25	10	1	5	2	4	4			1			48						
	第2回定例会	3	3		5						1			12						
	第3回定例会	3	1		2	2	2	1	1		3			14						
	第4回定例会	5	4		1	1		1	1					12						
	小 計	36	18	1	13	5	2	6	6		1	4		86						
臨 時 会	第1回臨時会	1			1		2	1	1					4						
	小 計	1			1		2	1	1					4						
合 計		37	18	1	13	6	2	8	7	1	1	4		90						

17 請願・陳情の審査状況(令和3年)

	受理件数	採 択	不 採 択	継続審査	取り下げ
請 願	2	1	1	0	0
陳 情	0	0	0	0	0

財 政

1 予算総括表(当初)

(単位：千円)

	令和3年度当初	令和4年度当初	
	予 算 額	予 算 額	前年度比
一 般 会 計	58,280,000	59,400,000	1.9 %
特 別 会 計	49,273,000	50,547,000	2.6
物 品 調 達	7,900	7,900	0.0
公 共 用 地 先 行 取 得	278,400	343,600	23.4
国 民 健 康 保 険	14,747,000	14,742,000	△ 0.0
国民健康保険直営診療施設	43,400	42,700	△ 1.6
後 期 高 齢 者 医 療	2,210,600	2,443,400	10.5
介 護 保 険	14,453,000	14,628,000	1.2
市 行 造 林	56,700	54,700	△ 3.5
公 設 地 方 卸 売 市 場	67,500	101,600	50.5
駐 車 場	88,400	153,000	73.1
競 輪	17,316,000	18,026,000	4.1
牧 田 財 産 区	3,000	3,000	0.0
一 之 瀬 財 産 区	300	300	0.0
時 財 産 区	800	800	0.0
企 業 会 計	49,356,000	49,274,000	△ 0.2
病 院	36,874,000	37,409,000	1.5
水 道	4,034,000	3,516,000	△ 12.8
簡 易 水 道	231,400	268,000	15.8
公 共 下 水 道	7,685,000	7,549,000	△ 1.8
特定環境保全公共下水道	405,000	402,300	△ 0.7
農 業 集 落 排 水	126,600	129,700	2.4
合 計	156,990,000	159,221,000	1.5

2 一般会計予算款別比較表(当初)

(単位：千円)

歳 款	入 別	令和3年度当初		令和4年度当初		
		予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	前年度比
1	市 税	26,490,000	45.5 %	27,460,000	46.2 %	3.7 %
2	地 方 譲 与 税	541,000	0.9	613,000	1.0	13.3
3	利 子 割 交 付 金	20,000	0.0	15,000	0.0	△ 25.0
4	配 当 割 交 付 金	95,000	0.2	105,000	0.2	10.5
5	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	97,000	0.2	154,000	0.3	58.8
6	法 人 事 業 税 交 付 金	149,000	0.3	395,000	0.7	165.1
7	地 方 消 費 税 交 付 金	3,455,000	5.9	3,852,000	6.5	11.5
8	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	24,000	0.0	38,000	0.1	58.3
9	環 境 性 能 割 交 付 金	36,000	0.1	84,000	0.1	133.3
10	地 方 特 例 交 付 金	378,000	0.6	223,000	0.4	△ 41.0
11	地 方 交 付 税	3,300,000	5.7	3,800,000	6.4	15.2
	う ち 普 通 交 付 税	3,000,000	5.1	3,500,000	5.9	16.7
12	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	23,000	0.0	22,000	0.0	△ 4.3
13	分 担 金 及 び 負 担 金	196,390	0.3	197,273	0.3	0.4
14	使 用 料 及 び 手 数 料	1,082,460	1.9	1,242,690	2.1	14.8
15	国 庫 支 出 金	7,453,196	12.8	7,327,549	12.3	△ 1.7
16	県 支 出 金	3,907,045	6.7	4,024,354	6.8	3.0
17	財 産 収 入	130,100	0.2	126,450	0.2	△ 2.8
18	寄 附 金	878,180	1.5	989,460	1.7	12.7
19	繰 入 金	1,350,530	2.3	2,072,710	3.5	53.5
	う ち 財 政 調 整 基 金 繰 入 金	700,000	1.2	850,000	1.4	21.4
20	繰 越 金	750,000	1.3	1,000,000	1.7	33.3
21	諸 収 入	2,677,999	4.6	2,725,214	4.6	1.8
	う ち 競 輪 事 業 収 入	100,000	0.2	100,000	0.2	0.0
22	市 債	5,246,100	9.0	2,933,300	4.9	△ 44.1
	う ち 臨 時 財 政 対 策 債	3,240,000	5.6	1,100,000	1.9	△ 66.0
	合 計	58,280,000	100.0	59,400,000	100.0	1.9

3 一般会計歳出(目的別)予算(当初)

(単位：千円)

歳出 款別	令和3年度当初		令和4年度当初		
	予算額	構成比	予算額	構成比	前年度比
1 議会費	367,750	0.6%	358,490	0.6%	△ 2.5%
2 総務費	5,991,560	10.3	6,364,780	10.7	6.2
3 民生費	21,829,560	37.5	22,312,020	37.6	2.2
4 衛生費	4,731,940	8.1	5,142,520	8.7	8.7
5 労働費	89,550	0.2	113,450	0.2	26.7
6 農林水産業費	882,540	1.5	863,430	1.4	△ 2.2
7 商工費	2,456,530	4.2	2,714,780	4.6	10.5
8 土木費	6,053,000	10.4	5,397,460	9.1	△ 10.8
9 消防費	1,771,580	3.0	1,755,550	2.9	△ 0.9
10 教育費	6,187,640	10.6	6,234,420	10.5	0.8
11 公債費	5,405,100	9.3	5,634,000	9.5	4.2
12 諸支出金	2,473,250	4.2	2,469,100	4.1	△ 0.2
13 予備費	40,000	0.1	40,000	0.1	0.0
合計	58,280,000	100.0	59,400,000	100.0	1.9

4 財政の主要指標(普通会計決算)

(単位：千円)

区 分	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	
人 口 (年 度 末)	161,308 人	161,123 人	160,485 人	
歳 入 総 額	61,715,721	68,394,264	79,960,576	
歳 出 総 額	59,148,705	65,396,100	77,446,374	
歳入歳出差引額	2,567,016	2,998,164	2,514,202	
翌年度へ繰越すべき財源	93,456	181,683	292,549	
実 質 収 支	2,473,560	2,816,481	2,221,653	
単 年 度 収 支	405,969	342,921	△594,828	
積 立 金	605,900	609,500	291,800	
繰上償還金	—	—	—	
積立金取崩し額	—	800,000	—	
実質単年度収支	1,011,869	152,421	△303,028	
基準財政需要額	25,696,557	26,312,993	27,344,084	
基準財政収入額	22,735,350	23,158,615	23,950,867	
標準財政規模	35,243,702	35,293,164	36,173,659	
財政力指数	0.890	0.885	0.880	
実質収支比率	7.0%	8.0%	6.1%	
公債費負担比率	12.7%	12.9%	12.7%	
積立金 現在高	財政調整基金	5,542,300	5,351,800	5,643,600
	減債基金	1,056,749	1,147,808	875,042
	特定目的基金	7,136,731	3,059,603	3,506,039
地方債現在高	67,478,794	69,809,977	69,348,962	
収益事業収入額	100,000	100,000	100,000	
債務負担行為限度額	45,387,289	40,215,988	42,313,376	
経常収支比率	87.5%	89.9%	90.0%	

大 垣 市 未 来 ビ ジ ョ ン

1 みんなが住みやすいまち(都市基盤)

- ・地域の特性にあわせてくらしやすい環境が整ったまち
- ・安心してくらする居住環境が整ったまち
- ・愛着をもてる良好な景観と身近で気軽に利用できる憩いの場が充実したまち
- ・安全で安心なおいしい水道水が利用できるとともに、下水道が整備された衛生的なくらしができるまち
- ・安全で利便性の高い公共交通網と道路環境が整ったまち
- ・若者をはじめ子育て世代が移り住みたくなるまち
- ・ICTの分野で活躍できる人材が育つとともに、ICTを活用した利便性の高いくらしができるまち

2 みんなが元気なまち(産業振興)

- ・ものづくり産業を中心として、活力ある成長産業が充実したまち
- ・活力と魅力ある商店が充実した、賑わいのあるまち
- ・農業に意欲的な担い手が育ち、様々な農業分野で活躍の場があるまち
- ・豊かな山林が育ち、またその山林が資源としても活用される環境が整ったまち
- ・行ってみたいくなる・また来たいくなる観光資源が創出され、多くの人で賑わうまち
- ・地元で安心して働くことができ、充実したくらしができるまち

3 みんなが安心するまち(生活環境)

- ・浸水被害や土砂災害のリスクが低減され、安心してくらしができるまち
- ・新庁舎を防災の中心拠点とした体制が整うとともに、市民の防災意識が高まり、地域が一体となって災害に備えているまち
- ・信頼される体制のもと、安心してくらしができるまち
- ・犯罪や事故の少ない、安心してくらしができるまち
- ・美しい生活環境が整ったまち
- ・ごみが少なく、資源が効率よく循環された、環境にやさしいまち

4 みんながあたたかいまち(健康・福祉・人権)

- ・多くの市民が健康を意識し、主体的に健康づくりに取り組むことができるまち
- ・安心して適切な医療を受けられる環境が整ったまち
- ・地域の住民がお互いに助けあい支えあえるまち
- ・障がい者が住みなれた地域で、自立したくらしができるまち
- ・高齢者が住みなれた地域で、健康で生きがいをもったくらしができるまち
- ・くらしの安全が確保されたまち
- ・市民一人ひとりがお互いを認めあう心をもつ、人権意識の高いまち
- ・多くの市民が、性別や国籍にとらわれず、お互いを尊重しあえるまち

5 みんなが成長するまち(人づくり)

- ・安心して子どもを産み、楽しく子育てができるまち
- ・子どもを育てための学習機会や家庭環境が充実し、社会環境が整備された、地域ぐるみで青少年を育てるまち
- ・充実した学校生活を通して、健やかな心と体をもつ子どもが育つまち
- ・子どもから高齢者まで、生涯にわたり学び続けることができ、生きがいをもって活動的なくらしができるまち
- ・生涯にわたりスポーツを身近に感じ、スポーツを楽しめる環境が整ったまち
- ・芸術文化や歴史に親しみ、ふるさとに愛着と誇りを感じられる環境が整ったまち

6 みんなが主役のまち(市民協働)

- ・市民一人ひとりが主体的にまちづくりに参加できるまち
- ・市民に信頼される西美濃地域の中心都市



大垣市マスコットキャラクター
おがっきい&おあむちゃん